

# 広報 しばた

## 頂点を目指して

昨年11月に行われた第34回宮城県中学校新人柔道大会の女子団体で第2位の好成績を収めた船岡中学校柔道部。厳しい寒さの中でも、それぞれの課題を克服するべく、日々練習に励み、最大の目標である宮城県中学校総合体育大会での優勝を目指します。

【写真：1月9日(水)船岡中学校柔道場】



2



特集1  
2019年  
柴田町成人式



1



①思い出に残る成人式になるよう準備を進めてきた実行委員の皆さん。 ②参加者に20歳の抱負を聞きました。  
③奥州柴田一番太鼓の皆さんに式のオープニングを飾っていただきました。 ④中学時代の恩師からのビデオレターが  
上映されました。

# 大人としての 新たな一歩を 踏み出す新成人

1月13日(日)、新春の青空の下、船岡中学校体育館を会場に、柴田町成人式が開催されました。

今年は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた533人(男性313人、女性220人)が成人を迎え、式典には、287人(男性183人、女性104人)が出席しました。

艶やかな振り袖姿、凛々しい羽織はかま姿やスーツ姿の新成人は、同級生との久々の再会に笑顔が溢れ、記念撮影や昔話をする様子が会場の至る所で見受けられました。

式典で、滝口町長は、「若さを武器に、自分の人生で本当にやりたい夢や希望の実現を目指して、常に心のシェイプアップを図りながらチャレンジし、後悔しない人生、そして多くの人を幸せにする人生を歩いてほしい」と、人生の節目に立った新成人を激励しました。

家族や恩師、地域の皆さん、多くの方々に新たな門出を祝福された新成人は、これからの社会を担う決意を新たに、さらなる成長を誓いました。

問 生涯学習課 ☎55-2135

## 20歳のメッセージ



新成人代表  
ながやま かんき  
長山 栞 さん

私は、家族に「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。女手一つで育て、専門学校にまで行かせてくれた母には、言葉では表せないほど感謝しています。また、旅行に連れて行ってくれるなど、いつも優しく接してくれた祖父母にも、同じように感謝しています。今の私があるのは、この家族に育ててもらったからです。生まれてから今まで私のことを育ててくれて、本当

にありがとうございます。そして、今、私は看護師になるために専門学校に通っています。病院で看護師が誰にでも明るく、優しく接し、元気を与えている姿を見て、私にも患者さんの気持ちを明るくできないかなと思



新成人代表  
おおつき りょうた  
大槻 亮 さん

今日までいつも優しく、時に厳しく育ててくれた家族、たくさん

れまで私のことを支えてきてくれた友達のように、困ったことがあったら私を頼ってもらえるよう、日々精進し、一日一日を無駄にせず、自分には厳しく、他人には優しくすることを心掛けて、いずれば私の世代の柱となるような存在になりたいです。

※一部抜粋

# みんなで育てよう 笑顔あふれる元気な 「しばたっ子」



問 生涯学習課 ☎55-2135

## 子どもたちに「豊かな学びや体験を」「地域への誇りと愛着を」

柴田町教育委員会では、平成23年度から実施してきた「協働教育プラットフォーム事業」をさらに発展させ、平成29年度から「柴田町協働教育推進事業（地域学校協働活動推進事業）」を展開しています。

これは、「地域活動」、「家庭教育支援活動」、「学校支援活動」の3つの柱で構成され、地域・家庭・学校・行政が、町の子どもの健全育成のため、お互いを尊重しつつ協力し合う（＝協働）活動です。

地域の方々の協力により、町の子どもたちはさまざまな体験をし、豊かな学びの機会を得ています。

## ●●●●●●●● 地 域 活 動 ●●●●●●●●

### ～地域社会における活動で「生きる力」を育む取り組み～

子どもたちが社会と接点を持ち、多様な人たちとつながりながら学んでいくことにより、社会を広く知り、自分の活動が誰かのためになるといった気づきを得ることで、心豊かな成長を促します。

#### 柴田町子どもフェスティバル

子どもたちが地区ごとに手作りの遊びのブースを出店して、地域の垣根を越え交流します。

実施にあたっては、町子ども会育成会連絡協議会が中心となり、ジュニア・リーダーや町各種婦人団体連絡協議会など、多くの方々にもご協力をいただいています。



お客さんをもてなす各地区の子どもたち。

景品のポップコーンをつくる町各種婦人団体連絡協議会の皆さん。



#### ジュニア・リーダー活動

ジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」は、中学生12名、高校生10名で子ども会活動の活性化を目的に、活動しています。子どもフェスティバルへの協力や自主企画「縁日」も実施しています。また、近隣市町のジュニア・リーダーとの定期交流会などを行い、次世代のリーダーとして日々スキルアップしています。



ジュニア・リーダーと子どもたちが、楽しく子ども会活動をしています。



「縁日」では、わたあめや射的のブースにたくさん子どもたちが集まりました。

# 家庭教育支援活動

## ～全ての教育の出発点である家庭教育を応援する取り組み～

日々の子育ての中で、子どもとのコミュニケーションやしつけについて思い悩むのは、どの家庭でも経験があることではないでしょうか。生涯学習課では、家庭教育を支援する活動として、父子で交流するイクメン講座や柴田町家庭教育支援チーム「子育てサポーター『すきつぶ』」の協力で子育てや家庭教育に関する講座を行っています。

### 子育て・親育ち思春期講座

2月に行われる中学校入学説明会の機会に、町内4小学校で開催しています。

思春期を迎えるお子さんの特徴や親としての関わり方などを学び、親子ともに健全な中学校生活を送ることをねらいとしています。



敏感な思春期の時期に親としてできるちょっとしたアプローチ方法などを学びました。

### 子育て・親育ち講座

家庭における基本的なしつけの重要性を学ぶ機会を提供するため、次年度就学予定児童の発達検査の待ち時間を利用して、町内全小学校で開催しています。

グループワーク形式で小学校入学に向けての不安を共有し交流することで、子育ての不安解消だけでなく、6年間共に学校生活を送る保護者同士のつながりづくりにも努めています。



講話と気軽な話し合いで、保護者同士の交流が行われました。

### イクメン講座

就学前のお子さんや小学生と父親を対象に、料理や工作、アウトドア活動を体験します。父子で触れ合いながら、子育てについて楽しく学ぶ講座です。



子どもたちの頑張りを、パパや講師が温かく見守っています。

### 親のみちしるべ出前講座

宮城県が推奨する家庭教育プログラムを活用して、保護者同士が交流しながら主体的に学ぶワークショップを開催しています。



終始笑顔の和やかな講座です。

### 町の親子の笑顔をサポート 子育てサポーター「すきつぶ」を紹介します

子育てサポーター「すきつぶ」は、平成16年に発足し、現在は16名で、柴田町子育て支援センターを拠点に活動しています。

育児サークルや親子イベントの支援、健康推進課や生涯学習課と連携した家庭教育支援など、「子どもを通じた親の支援」を積極的に行っており、いつも元気で明るく、町の親子を笑顔にしている皆さんです。



## がっとなり、地域社会全体で子どもたちを育てる取り組み～

### 職場体験学習受入れ事業

地域の方々との触れ合いや職場での体験を通して、望ましい勤労観や職業観を育成することをねらいとして、中学2年生を対象に実施しています。今年度は、町内外の59事業所にご協力をいただきました。

身近な事業所とそこで働く方々との交流により、働くことの意義や仕事のやりがい、社会性や道徳性、自分たちの住む町への理解や誇り、愛着なども高まってきています。



新聞販売所では、写真撮影などの取材体験をしました。



ビジネスホテルでは、ベッドメイキングを体験しました。

### キャリアセミナー

町内外の社会人の方々に職業観や人生観についてお話しいただきます。今年度は各中学校の1、2年生を対象に、延べ58名のさまざまな職種の方にご協力いただきます。

働く大人の思いを聴き、働くということに思いを巡らせ、そのために今、自分ができることを考えるきっかけとなっています。また、講師の多くは職場体験学習にもご協力くださっているため、「話を聴き、考える活動」から「自ら職場へ出向き、体験する活動」へとつながりができています。



生徒は、講師の話に熱心に聴き、積極的に質問しています。



キャリアセミナー講師研修会の様子。皆さん熱心に勉強し本番に臨んでいます。

### 活動を支える協働教育コーディネーターを紹介します

学校支援活動では、学校の思いを理解し、地域のことをよく知り、さらに子どもたちのためという思いへの理解と感謝をしっかりと伝えていくことが重要です。その役割を果たしているのが協働教育コーディネーターです。

今年度は3人のコーディネーターが、学校・地域のそれぞれの思いを聞き、より効果的な活動になるように両者をつないでいます。常に、子どもたちの豊かな学びのためにという熱い思いを持って活動しています。

平成26年度からコーディネーターを務め、今年度、統括役を担っている松田ゆう子さんは、「柴田町では学校も地域のボランティアの方も同じ目的のためにがんばろうという気持ちがとても強くなっていると思います。その気持ちを受け止め、次の活動に生かしていきたいです」と話してくれました。

活動の表舞台にはなかなか表れない「縁の下の力持ち」。でも、とても重要な存在なのです。



### しばたっ子応援団（学校支援ボランティア）の派遣

しばたっ子応援団とは…「深めよう学校と地域の絆」をキャッチフレーズに、学校が必要とする支援要請に応じて、学習活動や学校環境の保全などのサポートをする無償ボランティアです。「学校や子どもたちのために」という思いがあれば、どなたでも参加できます。

平成30年12月末現在、個人47名と50団体（240名）、合計287名の方々に登録をいただいています。昨年度は44件、185回、196名（延べ500名以上）の方々に、教科・地域学習、環境整備、キャリア教育など幅広い分野で支援をいただきました。学校だけではなかなか体験できない、多様で充実した教育活動が展開されています。



西住小学校では、お茶クラブの皆さんの協力で茶道体験が行われています。



槻木小学校では、多くのしばたっ子応援団の協力で、町について学び、町を紹介するCMを制作しました。



柴田小学校では、しばたっ子応援団の方と登校後の児童たちが、新聞を読みながら交流する活動が行われています。



船迫中学校では、上川名地区活性化推進組合の皆さんの指導で生徒たちが竹を伐採し、ほうきを作り、地域を清掃する活動が行われています。

### 文部科学大臣表彰を受賞

しばたっ子応援団（学校支援ボランティア）活動は、平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、しばたっ子応援団だけでなく、学校支援に関わっている多くの方々の「子どもたちの未来のために」という思いと活動が認められたものです。

子どもたちは、地域の方とのさまざまな協働活動を通じて、コミュニケーション能力や、自分自身を認め大切に思う「自尊感情」、地域への理解・関心などを高めることができます。保護者も子どもたちの学びを通して、地域を知る機会となり、地域の方々にとっても、自らの知識や技能、学びの成果が子どもたちの教育活動に生かされることで、生きがいや自己実現の機会が得られています。

今後も家庭・地域・学校の連携・協働を進め、お互い顔が見える関係づくりを強化して、「学校を核とした地域づくり」を行ってまいります。



庁舎3階教育委員会前には多くの活動写真を掲示しています。

# 町長へのメッセージについてお答えします

今年度、町民の皆さんから、より良いまちづくりのためのご意見、ご提案として、たくさんの「町長へのメッセージ」をいただきました。その中から一部を紹介します。

📍まちづくり政策課 ☎54-2111



## 町の交通対策について

仙台へ通勤していますが、何かの影響で電車が止まってしまうと交通手段が無くとても不便です。町外へも運行する町民バスがあると便利ではないでしょうか。

町外へのバス路線については、村田町や大河原町行きの民間バス路線がありましたが、利用者が少なく、採算が合わないことから、平成19年度で廃止となった経緯があります。

町内では、高齢者や交通弱者を中心とした方々のために、町民バスに相当する交通機関として、平成24年8月から、町内の3つのタクシー会社のご理解とご協力のもと、町内を運行エリアとする、デマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」が運行されています。ご提案いただきました町民バスの町外への運行は、現在のデマンド型乗合タクシーの営業許可の内容では、

町外での営業は認められていないため運行できません。

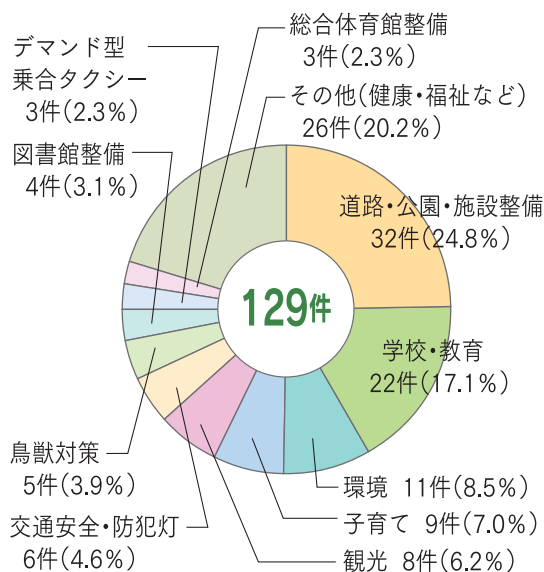
町民バスを町外へ運行するためには、車両の増車が必要ですが、新たな車両の購入や運転手の確保が困難なこと、乗り入れ先の町外のバス事業者、タクシー会社との合意も必要となること、導入しても利用者が少ない自治体も多いことなどから、現在のデマンド型乗合タクシーに加えて、町民バスの町外への運行を図ることは、町の財政に与える影響も大きく、すぐに課題を解決することは、難しい状況でありますことをご理解いただきたいと思います。



平成29年度は、登録者2,793人、延べ16,949人に利用いただいた「はなみちゃんGO」

## 今年度いただいたメッセージの内訳

(平成30年12月末時点)



## ホストタウンとして草の根的な盛り上げが必要では

2020年に東京オリンピックが開催されますが、柴田町でもベラルーシ新体操チームのホストタウンとして合宿が行われています。公開練習を見学し、世界トップクラスの選手の演技に深く感動しました。ただ、地元柴田町民の関心が高いとは感じられません。もっと町全体で、草の根的な盛り上げが必要だと思えます。

2回目の実施となった昨年のベラルーシ新体操チームの事前合宿「SAKURACAMP2018」では、一昨年の事前の周知が十分ではなかったことへの反省を踏まえ、公開演技会のチラシの全戸配布や、より多くの方に公開演技会を見ていただくため、観客席の増設を行うなどの取り組みを行いました。また、公開演技会の模様を「広報しばた」の特集記事で取り上げるなどした結果、町民の関心が徐々に高まっ



できていると感じておりません。

来年度に実施予定の「S AKURACAMP2019」では、限られた日程の中ではありますが、町民との交流事業の実施なども検討し、2020年の大会本番に向けてさらに関心が高まるよう取り組んでまいります。



約600人の観客が訪れた昨年の公開演技会

でき、大変不便で危険になります。早く完成するようお願いいたします。

町道富沢16号線の道路改良工事は、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し進めています。年々国からの交付金の配分が縮小されており、当初の事業計画どおりの完成は極めて困難な状況にあります。完成の時期につきましては、今後の国の交付金の配分に大きく左右されますが、早期完成を目指し、事業促進を国に働き掛けてまいります。



早期の完成が望まれる町道富沢16号線

### 公園の遊具について

船岡保育所の隣の公園の遊具が老朽化し、使用できなくなり久しいですが、「キケン」のバリケードを貼るのであれば撤去していただきたいです。

船岡保育所の隣の公園は「船岡新栄2号公園」という名称で、平成9年度に完成した公園です。

完成から約20年が経過し、ご指摘の木製の複合遊具は、腐食が進んだことや、燃やされるなどの悪質ないたずらにより使用するのが危険な状態となっていたため、バリケードなどにより使用禁止の措置をとらせていただいております。

使用禁止措置の期間が長引き、公園利用者にご不便をおかけしましたが、この度、既存の木製遊具の撤去および遊具の新設工事を発注したところです。少しでも早く、新しい遊具が皆さまにご利用いただけるよう

工事を進めてまいりますので、もししばらくお待ちいただければと思います。



新しい遊具の設置工事は、1月末に完成予定です。

### 図書館の槻木分室について

図書館の槻木分室を利用していますが、本の数が少なすぎます。特に文学作品が少なく、古いものばかりです。槻木分室のほうにも本を増やしてもらえようお願いします。

槻木分室は、平成28年7月1日に槻木生涯学習センター図書室を活用してオープンしました。計画に基づき図書を購入しておりますが、まだまだ十分とはいえ

ませんので、ご要望にそえるよう整備してまいります。

また、槻木分室には職員が常時おりますので、読みたい本が無い場合はご相談ください。本館にある場合は、早ければ次の日にはご用意できますし、ない場合でも少しお時間をいただきますが、新規購入や他の図書館からの相互貸借制度を活用してご準備しますので、お気軽にお声掛けください。



小さいながらも図書館として機能をもつ槻木分室

**お願い** 大変貴重なご意見をなどを匿名でお寄せいただくことがあります。匿名でいただいても、回答することができませんので、ぜひ「氏名」「住所」を明記してお寄せください。



152

柴田町長 滝口 茂

2月は、新年度の当初予算がまとまる時期です。平成31年度の重点目標の一つに掲げたのが、小中学生の学力向上対策です。

昨年の全国学力テスト

の結果では、仙台市を除く、宮城県の平均正答率は、中学校が全国平均を下回り、小学校は最下位となつてしまいました。さらに、不登校児童生徒数の増加も深刻化していますので、私としても危機感を抱いているところで、

このような現状を打破するために必要なことは、教員が余裕を持つて子どもたちに向き合い、授業づくりに集中できるような体制を整えることであり、それが行政の責務ではないかと思っております。

県内でも学力がトップクラスの自治体の教育環境を調べてみたところ、中学校においては35人学級の編成が行われ、さらに、県からの指導主事の派遣や、自治体独自で全校全学年に対して、学力テストを年2回実施しており、子どもたちの弱点をカバーし、学力向上の成果を上げております。

また、福島県では、平成17年度から公立小中学校の全ての学年で30人学級を導入

しており、秋田県でも全ての学年で、少数指導を実現しています。

本来、義務教育における国、県、市町村の役割分担としては、指導権限や人事権限を持つている国や県に、教員の確保などの責任があり、一方、市町村は学校施設などの環境整備に主な責任があります。これまで県の教育委員会でも、さまざまな学力向上や不登校対策を行っていますが、まだ目に見える効果が上がっていません。

町としても、学力向上対策を県にだけ任せてもらえませんが、新たに英語力強化のためのALTを1名増員、図書館司書を3名正職員として採用するとともに、町独自で学力テストを実施し、子どもたちの学力を引き出していききたいと思っております。

子どもたちには、さまざまな潜在能力がありますので、全国学力テストの結果に、一喜一憂すべきではないと思っておりますが、確実に学力を向上させるための対策があるのであれば、行政、学校、そして保護者の皆さまの協力を得て、全国学力テスト最下位からの脱却を図りたいと思っております。

## 学力の向上を図るために

## 芸術空間

Shibata Art Gallery  
No.2

# 『人間図鑑2017』(油絵)

山家利治



30歳の頃より、現代人の群像をモチーフにした作品を発表しています。オリジナリティーのある唯一無二の作品を制作することを目標に、現在まで続けています。この作品は現代に生きる人間のアイデンティティー(自己の存在確認)の稀薄さに興味を持ち、描いています。(文 山家利治)



山家 利治(やんべ としじ) 1956年蔵王町生まれ。船岡字西住町在住。

- 第15回青木繁記念大賞公募 石橋美術館賞 ●河北美術展 文部大臣奨励賞、東北電力賞、他4回入賞
  - 二紀展 準会員優賞、奨励賞、第一回春季二紀展優賞 ●ふるさとの風景展 準大賞、奨励賞4回 ●他賞多数
- (現在) 河北美術展招待作家、二紀会会員、県芸術協会絵画部委員



# 健康情報クリップ

なるほど!

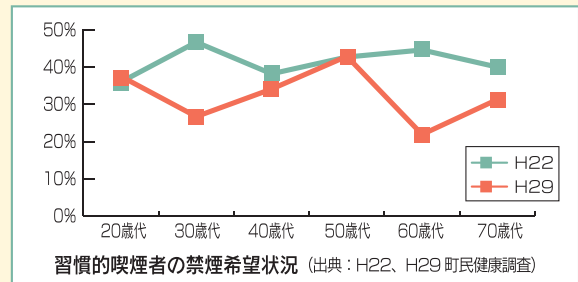
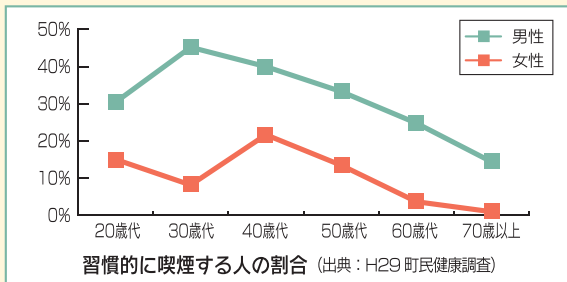
みんなの健康ライフ シリーズ54

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第54回のテーマは、「禁煙」です。

## “たばこ”のない生活を手に入れよう

平成29年に実施した町民健康調査によると、喫煙率は男性で30歳代、女性で40歳代が最も高くなっています。また、禁煙を希望している喫煙者の割合が、平成22年と比べて少なくなっており、禁煙をしようという意志の低下がうかがえます。20～40歳代は子どもを育てる年代です。喫煙により自分だけではなく、配偶者や子どももさまざまな有害物質にさらされてしまいます。短時間の受動喫煙でもたばこの害は蓄積されます。しかし、煙にさらされないことにより肺の浄化作用できれいにするすることができます。この機会に禁煙についてじっくり考えてみましょう。



### 禁煙の効果

- 20分 …… 血圧が正常になる。
- 8時間 …… 血液中の酸素濃度が正常になる。
- 24時間 …… 心筋梗塞のリスクが減る。
- 48時間 …… 味覚、嗅覚が回復し始める。
- 2週間～3ヶ月 …… 循環器機能が改善。歩行が楽になる。
- 1～9ヶ月 …… 咳、疲労、息切れが改善する。
- 5年 …… 肺がんのリスクが半分になる。
- 10年 …… 肺がんのリスクが非喫煙者と同程度になる。

### 禁煙相談

詳しくは、かかりつけの医療機関、薬局、健康推進課にお問い合わせください。また、宮城県のホームページに「禁煙を支援する医療機関・薬局」が掲載されています。

#### 【禁煙外来】

医師からアドバイスを受けながら禁煙する、禁煙治療プログラムです。

健康保険などを使った禁煙治療では、12週間で5回の診察を受け、禁煙補助薬の処方や、息に含まれる一酸化炭素の濃度の測定、禁煙状況に応じて医師のアドバイスを受けることができます。

#### 【禁煙支援薬局】

宮城県薬剤師会が認定した認定薬剤師が禁煙に関する相談などの支援を行います。

禁煙補助剤の適切な使用方法や禁煙達成までの適切なアドバイス、現在飲んでいる薬との相性や使用量などの各種相談や指導を受けられます。

### 保健師からのアドバイス ～喫煙は百害あって一利なし～

たばこ臭を感じた時には、受動喫煙の被害に遭っています。たばこの煙は周りの人の命も確実に縮めています。あなたと、あなたの周りにいる大切な人たちを、たばこの被害者にさせないために、今こそ禁煙にチャレンジしてみませんか。

広 告

広 告

# まちかど NEWS



手作りの感謝状が滝口町長へ渡されました。



収穫したサツマイモはふかし芋などにしておいしく食べたそうです。

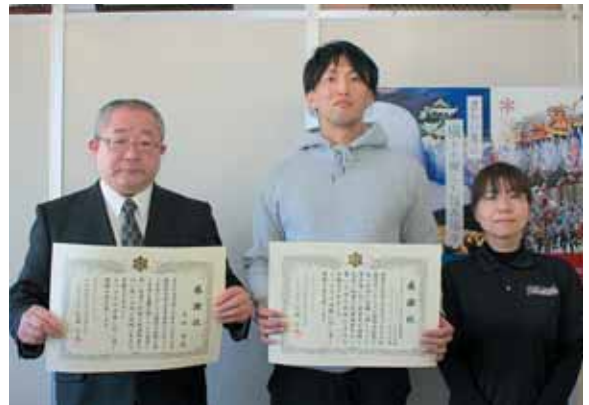
## 学校整備へのお礼が届きました

12月19日(水)、西住小学校の児童が、学校敷地内へイノシシの侵入を防ぐために設置されたフェンスのおかげで、無事にサツマイモを収穫することができたことへのお礼と、船岡中学校の生徒が、校内の暖房設備が新しくなったことへのお礼に役場を訪れました。船岡中学校生徒会副会長の一条杏子さん(2年)は、「より安全で快適な環境で、勉強に励むことができるようになりました」と話してくれました。

## 適切な判断で人命救助

NEWS

12月18日(火)に、ライフフィットスポーツ船岡店において、トレーニング中に心肺停止に陥った男性に対し、心臓マッサージやAEDによる救護処置を行った、同店マネージャーの山木卓也さん(船岡地区)とスタッフの石山記子さん(仙台市)、利用者の木村豊さん(村田町)に、1月8日(火)、柴田消防署の佐藤署長から感謝状が贈られました。山木さんは、「毎年、柴田消防署の方から救命講習を受けていて、その経験が活きました」と話されました。



感謝状が贈られた木村さん(左)、山木さん(中央)、石山さん(右)。

広 告

広 告

## 「地方創生に向けた包括連携に関する協定」締結

12月19日(水)、町と株式会社七十七銀行との間で「地方創生に向けた包括連携に関する協定」の締結式が執り行われました。

この協定は、地域経済の持続的な発展に向けて、双方の持つ資源を有効に活用し、新規事業の創出や企業立地の促進など、幅広い分野において連携および協力関係を築き、地方創生につなげることを目的としています。

滝口町長は、「交流の中から新たなビジネスが生まれることを期待しています」と話しました。



七十七銀行と県内市町村との連携協定は18例目となります。

## 柴田町合同出初式

1月6日(日)、柴田町消防団、交通指導隊、防犯実動隊、婦人防火クラブ連合会による新春恒例の合同出初式が開催されました。約330人が参加し、白鳥神社から船岡小学校までの分列行進や実地放水などが行われました。

滝口町長は訓示の中で、「各関係機関と協力・連携を密にした共助、公助の精神を確立した中で、住民の皆さまが安心して生活できるような強靱なまちづくりを進めます」と述べていました。



28台のポンプ車などが整然と並ぶ車両行進

## 新しい年を祝う新春交歓会

1月8日(火)、柴田町民新春交歓会が、ホテル原田innくらを会場に開催されました。この交歓会は、町内の企業や団体、各行政区長などの方々が一堂に会し、新春の挨拶を交わす場として毎年行われているものです。

年頭の挨拶で滝口町長は、「新たな年の流れをつくり、笑顔があふれるまちづくりを進めてまいります」と述べました。柴田町商工会の大槻裕喜会長の発声で乾杯を行い、和やかに懇談が行われました。



約400人が参加し町の発展を願いました。

広 告

広 告

こうほう 文芸

俳句

拉致されし人よ帰れよ御代の春  
船岡 可沼 妙子

稜線の色を濃くして初冠雪  
下名生 笠松ふみ子

寒き朝ひつじ似雲が彼方へと  
船岡 安藤 節子

寒に入りまだ遠いなあ花の春  
西船迫 深見 半爺

蠟梅や一輪咲きてそつと撫で  
西船迫 安ヶ平奈津枝

俳句とは「森羅万象」「四方の春」  
中野 西範子

黒豆のひかり転げし初厨  
石垣テル子

爪先は空を突き上げ出初式  
制野 千秋

太々と大地に根差し滝凍つる  
遊佐 徹

喰積や絵本お絵描きおままごと  
山家美智子

凍る朝足音熱きばん馬かな  
三塚 直樹

飾り無き家に寄り添う「初明り」  
及川美沙子

木々の芽の膨らむを見し七日かな  
若月ノリ子

初春や町が素顔にもどるとき  
大久保和子

遺されし句帳親しむ読始  
浪山 克彦

春の野に雉子の縄張り声交る  
槻木 平間 三郎

川柳

ケアホーム一人笑えば皆笑ふ  
下名生 笠松ふみ子

年賀状俺より多い妻の便  
西船迫 安ヶ平良三

花の街冬の柴田の光り花  
槻木 村上 紫寿

ずんだ餅変わりはてしたきな粉餅  
四日市場 鳥井崎七十老

綿入れて背中暖かネコ半天  
船岡 阿部美代子

おーオ寒い炬燵でみかんほつとする  
槻木 加藤 マサ

毎朝の日の出に今日の辛願う  
船岡 小林 夢子

老い二人独り言をば愚痴と聞く  
西船迫 舟廻めぐる

短歌

白雪の蔵王の山の上の上  
午前八時の月ぞ残れり  
船岡 可沼 妙子

阿武隈の昔の渡し向こう岸  
「ほうー」と呼べば漕ぎだす小舟  
四日市場 鳥井崎七十老

断捨離ややつとふんぎりつく年令に  
スリムな暮し一歩づつ進み  
西船迫 下浦 智子

吾亦紅逝きし幼友六年来て  
一枝持ちて墓辺ゆるりと  
船岡 伊藤タイ子

孫つれて白石川の白鳥に  
餌をあげれば皆奪いあう  
本船迫 森田 眞六

我が街に大学ありて活気満ち  
語らう姿見るはたのしき  
船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで2月12日(火)まで応募ください。 圖 まちづくり政策課 ☎54-2111

あなたの店や会社をPRしませんか? **しばた** 有料広告募集

- 発行日・発行部数：毎月1日(年12回)発行 16,000部
- 配布先：町内全世帯および各公共施設、町内外の関係団体
- 広告の規格：1枠 縦45mm、横86mm
- 広告掲載料：10,000円/1回(1枠)
- 募集枠数：広報紙1回につき12枠(広報紙1回につき1者1枠まで)
- 掲載基準：「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、柴田町有料広告掲載要綱をご覧ください。
- 申込方法：所定の申込書に広告原稿を添えてお申し込みください。申込書などは、町ホームページよりダウンロードできます。
- 申込期限：2月28日(木)

申問 まちづくり政策課 ☎54-2111 FAX 55-4172 ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>



広 告

広 告



柴田町の

記憶

をたどって

今から90年前の昭和4年2月に船岡駅が開設しました。その当時から変化してきた船岡駅前通りの様子を振り返ります。



昭和4年2月、住民悲願の船岡駅が開設されました。駅に向かう道には今は見ることのない馬車のわだちが刻まれています。  
(私たちの町しばた 昨日・今日・明日 (昭和57年発行) より)



昭和55年頃の船岡駅前通り。現在でも当時の面影があります。  
(私たちの町しばた 昨日・今日・明日 (昭和57年発行) より)

こども美術館



櫻井 心結さん

船岡小学校2年

「カラフル花」(工作)



「理想の国」(絵)

船岡小学校6年



庄司 千桜さん

広 告

広 告

広 告

広 告

## 快適な地域社会のために 安全に電気をお届けします

東北七県配電工事株式会社  
仙南営業所

後藤 大輔さん (30歳)

今回は、上名生地区で配電線設備の構築や維持を行っている東北七県配電工事株式会社仙南営業所の後藤大輔さんをご紹介します。



入社2年目の後藤さんは、長年勤めた介護の仕事から現在の会社に転職しました。

後藤さんは、電力会社から配電工事を受注し、その工事を協力会社へ発注する業務を担当しています。「図面で

工事概要を説明するなどのやり取りが主になりますが、工事箇所の確認のため現場へ出向くこともあります」と話します。全く異なる業種からの転職だったため、「入社当時は図面を読むことができず、工事の説明ができませんでした。自分なりに図面に使われる記号を表に起こしたりしながら、少しずつ覚えていきました」と当時の苦勞を振り返ります。

後藤さんは仕事をやる上で、人とのつながりを大切にしているそうで、「どんな仕事も人同士が行うもの。相手に良い印象を持ってもらえればスムーズに物事が進むと思います。日頃

から言葉遣いや接客態度に気をつけています」と話してくれました。また、仕事のやりがいについては、「自分が発注した工事で、電柱が建ち、電線が架かっていく姿を見ると、すごい仕事をしているのだと感じますね」と話してくれました。

「勤めて2年になりますが、仕事に行きたくないと思っただことは一度もありませんでした。それは上司、同僚の方々が公私にわたりとても親切で、支えていただいているからだと感じています。その周りの方々の期待に応えられるように、また、関係する会社の方からも、自分に任せれば安心だと言ってもらえるようになればと思います」と今後の目標を話してくれました。

電気という私たちの生活に不可欠なライフラインを支えている後藤さん。これからも頑張ってください。



図面を基に、施工した電柱の確認を行う後藤さん。



東北七県配電工事株式会社  
仙南営業所  
柴田町大字上名生字新大原205  
TEL 55-5431

平成16年設立(本社仙台市)。  
平成25年に仙南営業所開設。  
東北電力株式会社管内の配電設備を施工している。  
従業員11人。

人口と世帯数  
(平成31年1月1日現在)



37,956人  
(前月比14人減)



18,943人  
(前月比2人減)



19,013人  
(前月比12人減)



15,768世帯  
(前月比6世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。